

オールフラッシュストレージの採用で 仮想デスクトップサービスの ユーザー体感速度が大幅アップ、 セキュリティ対策も飛躍的に効率化



NTT Data

Global IT Innovator

会社名:

株式会社NTTデータ

www.nttdata.com/jp

課題:

- ユーザー体感速度の大幅向上
- データ削減によるコスト抑制
- 大規模環境における効率的なセキュリティ対策

ソリューションと効果:

- I/O処理性能が約4倍以上アップ、遅延時間を1ミリ秒未満に抑制
- インライン重複排除機能によりデータ量を大幅削減
- 1,000台単位でのWindows Updateが可能に

用途

仮想デスクトップ環境 (VDI) - DaaS

採用地域

日本

業種

システムインテグレーター

オフィス向けクラウドサービス「BizXaaS® Office」の仮想デスクトップサービスにオールフラッシュストレージを採用し、ユーザーの体感速度を大幅に向上

2015年7月、NTTデータが企業のオフィス向けに提供するクラウドサービス「BizXaaS® Office (ビズエクサース オフィス)」の仮想デスクトップサービスに、オールフラッシュストレージを採用した新たなメニューが登場しました。この新しい仮想デスクトップサービスのストレージ基盤として、「Pure Storage FlashArray 450 (以下、FA-450)」が導入され、従来比で処理速度が約4倍以上に向上、セキュアで快適なユーザー環境を支えています。

日本を代表するシステムインテグレーターとして成長を続けるNTTデータ。「Global IT Innovator」をグループビジョンとして掲げ、事業のサービス化、グローバル化を推進する同社では、クラウドサービスにおいてもいち早く取り組みを始め、2010年には企業向けクラウドサービス「BizXaaS」を提供開始、2011年にはオフィス環境向けに仮想デスクトップサービス、ファイルサーバーサービス、Exchangeメールサービスを提供する「BizXaaS Office」をラインアップに追加しました。

今回「BizXaaS Office」の強化策として、オールフラッシュストレージを活用した仮想デスクトップサービスを市場投入した背景には、昨今のワークスタイル変革やセキュリティ対策強化の動きの中で仮想デスクトップへの期待が急速に高まり、より処理速度を向上させてストレスなく利用できる環境が強く求められるようになってきたことがあります。2011年のサービス開始以来、着実にユーザー数を伸ばしてきた仮想デスクトップサービスですが、さらなるパフォーマンス要求に応えるためにオールフラッシュという新しい技術の採用に踏み切ることとなりました。

I/O処理性能の大幅向上で遅延時間は1ミリ秒未満、データ重複排除率も設計通りの高い水準を維持

複数のベンダーを比較検討したうえで、性能、機能、運用のすべての観点から高く評価されたのがピュア・ストレージでした。社内の実務環境での実機検証も行い、I/O処理性能向上によるユーザーの体感速度、重複排除によるデータ削減効率、障害発生時の対応などを2か月ほどかけて詳細にチェック。ほぼすべての項目において期待を上回る検証結果を得て正式に決定され、先行5,000ユーザー向けに「FA-450」が導入されました。

オールフラッシュストレージ採用の背景について、ビジネスソリューション事業本部 デジタルビジネスソリューション事業部 開発統括部 開発担当 課長の千北裕司氏は次のように説明しています。「コストを上げずに、よりよいサービスを提供する。これが当社の果たす使命だと考えています。仮想デスクトップの満足度を左右するのはユーザーの体感速度に他なりません。体感速度の向上にはストレージのI/O処理性能の向上が不可欠です。ディスクストレージと比べてI/O処理性能が桁違いで、しかもデータの重複排除を行って実際にシステムとして組み上げた時のコストメリットが大きいのが、ピュア・ストレージのオールフラッシュでした」

また、基盤システム事業本部 システム方式技術事業部 企画営業統括部 営業担当 部長の齋藤洋氏は次のように続けます。「当社もクラウドという新しいサービス形態へのチャレンジを続ける中で、新しい技術を積極的に採用しているという機運が高まっており、ディスクストレージと同等コストのオールフラッシュに挑むピュア・ストレージの企業スピリットに共感しました。特にインライン重複排除の技術は圧倒的で、設置スペースや消費電力量の大幅な削減につながり、確実にコストに反映することができます」

ユーザーの体感速度を徹底的に追求した新しいストレージ基盤は、I/O処理性能の向上に伴って遅延時間が通常1ミリ秒未満に抑えられたことにより、ログイン時間やアプリケーションの起動時間などのスピードが大幅にアップし、ユーザー満足度向上に大きく貢献しています。データの重複排除率も設計通りの高い水準を維持、設置スペースも従来の2分の1となり、性能、機能ともに期待以上の効果が得られています。これにより、従来と同等の価格で大幅な性能向上を図った高品質なサービスを実現しています。

「ディスクストレージと同等コストのオールフラッシュに挑むピュア・ストレージの企業スピリットに共感しました」

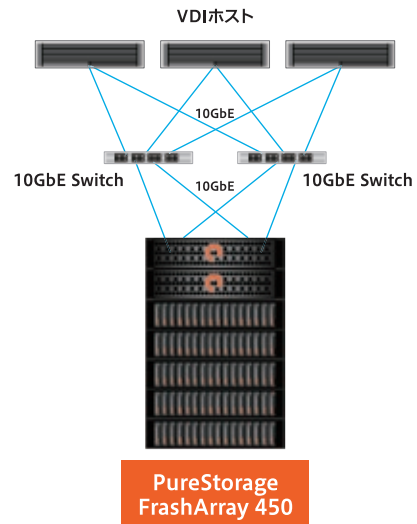
(齋藤氏)

1,000台単位のWindows Updateで効率的なセキュリティ対策が可能に

性能・機能面に加え、運用面でも高い成果が出ています。仮想デスクトップ環境は、Windows Updateやウイルスパターンファイルのアップデートなどのセキュリティ対策をシステム側で自動的に実施するため、ユーザーの負担なく常に安全な状態を保つことができるのも大きな特徴です。新しい環境ではオールフラッシュストレージの性能が、特にWindows Updateの飛躍的な効率化につながりました。ビジネスソリューション事業本部 デジタルビジネスソリューション事業部 開発統括部 開発担当 課長代理の甲斐友哲氏は次のように話しています。「ディスクストレージの場合、管理する仮想デスクトップの数が数千台の単位になると、細心の注意を払いながら分割して実施するしかなく、一度に100台程度が限界です。新しいオールフラッシュストレージを活用したシステムでは、1,000台の単位で一斉にアップデートを行っても顕著な性能劣化はみられず、適切なタイミングで効率よくセキュリティ対策が行えます」

運用面に関しては、ピュア・ストレージ独自の保守サポートサービス「リモートアシスト」も大きな評価ポイントでした。「リモートアシスト」は、米国ユタ州ソルトレイクシティの監視センターに常駐するピュア・ストレージのサポー

システム概要図



トエンジニアが、24時間365日、リアルタイムで障害監視を行うサービスです。「通常のストレージシステムの管理には専門技術を習得した専任要員が必要ですが、ピュア・ストレージの場合、ログが定期的に収集され、性能データなどの技術情報がサポートエンジニアと共有されているので、専任者でなくても安心して管理できます」(甲斐氏)

社内の約30,000ユーザーへの導入が決定、新たな分野でのオールフラッシュストレージ活用も積極的に検討

NTTデータでは、この仮想デスクトップ環境を社内の約30,000ユーザーにも導入することが決定しています。自ら率先して最新技術を活用した仮想デスクトップサービスを利用することで、ワークスタイル変革とセキュリティ対策強化を実践していく方針です。

仮想デスクトップサービス以外のビジネスへのオールフラッシュストレージ活用の検討も始まっています。「クラウドについては、ファイルサーバーサービスへの適用などによって、当社ならではの品ぞろえを目指します。また、今回のオールフラッシュストレージ導入で蓄積した運用ノウハウを生かして、新たな適用分野を積極的に開拓していきたいと考えています」(千北氏)



ビジネスソリューション事業本部
デジタルビジネスソリューション事業部
開発統括部 開発担当
課長 千北 裕司氏



ビジネスソリューション事業本部
デジタルビジネスソリューション事業部
開発統括部 開発担当
課長代理 甲斐 友哲氏



基盤システム事業本部
システム方式技術事業部
企画営業統括部 営業担当
部長 齋藤 洋氏



ピュア・ストレージ・ジャパン株式会社

お問い合わせ：03-5456-5710 (代表)

<http://jp-info.purestorage.com/ContactSales.html>

※会社名及び商品名は、それぞれ会社の商標あるいは登録商標です。